



令和3年度 7月号 No. 4

「絵本から飛び出したおやつ」



～あらすじ～

お母さんが作ってくれたクッキー。ふっくらと甘い香りでとってもおいしいそう。お母さんから「お友達を呼んでいらっやい。」と言われたけれど、むっくは、みんなに分けるのが、おしくなってしまう。そんな中うさぎのみみーに出会って気持ちが変わっていくお話です。

この日は、手作りクッキーでした。クッキーを焼き始めると、各部屋まで匂いが漂い子どもたちは、「なんか、いい匂いのしてきた。」とニコニコ笑顔でクラスの先生に教えたり、友達同士で、「今日のおやつは、クッキーよね。」と話したりしていました。色は違うけど、同じ形がありパズルのように合わせたり、クリスマスツリーの形のクッキーを見つけて喜んだり目でも楽しむことができました。

1年に1回～2回ほどしか登場しないクッキーに子ども達は、大喜びで1枚1枚の味を噛みしめて大事そうに食べていました。



～2回目のクッキー作り～

年長児の2回目のクッキー作りは、7月15日(木)に大空組(男の子)と太陽組で行いました。事前にクッキー作りを自宅で練習している子もいました。まず、始めに伸ばしておいた生地にクッキー型で型を抜いてもらいましたが、2回目からは、「自由に丸めて形を作ったり、型を抜いてもいいよ!」と言うことで、いろんな形のクッキーが出来上がりました。焼くと壊れそうな形もありましたが、綺麗に焼き上がっていました。

やっぱり、自分達で作ったものは美味しく大事に食べながらも、「パパとママにも持って帰る。」と言って持ち帰った子もいました。また、レシピを欲しいと言われた方に配布すると、さっそく作って親子の時間を楽しまれたようです。



☆☆☆食育の取り組み☆☆☆

今月の食育では、新たな課題に取り組みました。その日食べた給食の材料が、自分たちの体の中でどんな働きをしているかを知ってもらうために、食材の色分けを行いました。「野菜は何色の食べ物だったけ?」や「栄養の歌の歌詞を見てごらん!」などヒントを出しながら、1つずつ色分けしていききました。分からなくなると周りの友達が教えてくれる姿もあり、協力し合い理解を深める食育の時間となりました。

